

むさしの景観だより

「武蔵野市景観ガイドラインに関する意見交換会
～景観まちづくりをはじめよう～」を開催しました

第 8 号

平成 28 年
8 月発行

武蔵野市では、魅力ある景観の形成を進めていくための具体的な指針となる「武蔵野市景観ガイドライン」の策定を進めています。7月1日には素案を公表し、次のとおり、市民意見交換会を行いました。

▶ 第 1 回 武蔵境地域

7月3日（日）9時半から | スイングホールにて

▶ 第 2 回 吉祥寺地域

7月4日（月）19時から | 商工会館にて

*計 39 名の方にご参加いただきました！

まずはスライドを見ながら、市が検討した素案についての説明を行ったあと、石塚計画デザイン事務所の千葉晋也さんより「市民による景観まちづくり」というテーマでの情報提供をいただきました。

武蔵野市景観ガイドラインとは

平成 23 年に改定した「武蔵野市都市計画マスタープラン」の景観まちづくりの方針に基づき、市民と事業者、市の協働による景観まちづくりの考え方や、建築物等の形態、意匠、色彩などについての景観のルールを定めるもので、平成 29 年 4 月頃の公表に向けて、策定を進めています。



千葉さんからは、景観を構成するのは、道路や公園等だけでなく、住民が担い手となる家・庭・塀等の境界部のづくりも要素のひとつであることから、通りに開かれた庭をつくるといった住民一人ひとりの取り組みが大切であるというお話の後、市民による景観まちづくりの事例をご紹介いただきました。

「良い景観をほめる」活動として、良好な街並みに貢献している家を地域で表彰する事例や、「感謝する」活動として、大きな木の管理をしてきている持ち主の方に感謝状を贈る事例、「ルールをつくる」活動として、地域で決めたお揃いの花や木を植えて街並みに統一感を出した事例などのお話をいただきました。



情報提供のようす

その後、3つのグループに分かれて、

- 武蔵野市の景観を守り育てていくため、自分たちに何ができるか考えよう

というテーマで、地域ルールの策定、景観まちづくりに関する活動、よい景観の表彰制度や景観講座などについて意見交換を行いました。

意見交換会で出された主なご意見

市民主体の景観まちづくり・支援制度について

- ・助成金制度については、もっと具体的なイメージを示してほしい。
- ・地区まちづくり計画の策定は、ハードルが高い。景観まちづくり協定の創設や地区まちづくり計画の見直しは評価できる。
- ・地域の問題を気軽に相談できる行政窓口や専門家派遣制度があるとよい。
- ・費用がかかることについては、助成金などで補助してほしい。
- ・景観まちづくりを行っていくためのコミュニティを育てることが必要である。
- ・マンションが増えているので、ベランダの景観づくりを考えることも大切である。



市民の意識を高める取組みについて

- ・「景観は公共のもの」という意識を広げていきたい。
- ・若い人の参加も増え、多く世代で景観づくりに関わるとよい。
- ・緑や景観についての物語を、子どもたちを通じて伝承していくことでまちへの愛着が生まれていくのではないかな。
- ・市民が専門家から知識を学ぶ機会があるとよい。
- ・表彰制度は、大掛かりなものだけでなく、市民が気軽に始められる活動もあるのではないかな。
- ・オープンガーデンをやってみてはどうか。



景観協議について

- ・ガイドラインで済ませるのではなく、景観条例をつくるべきだ。
- ・景観アドバイザーは、武蔵野市のことをよく知っている人がよい。また、公平性を保つことも考慮して選任してほしい。

公共空間における景観づくりについて

- ・公共空間の景観形成にしっかり取り組んでほしい。そのプロセスに市民も参加できるようにしてほしい。
- ・行政の横断的な情報共有が必要である。
- ・電柱の色彩に配慮したり、モデル地区を設定したり、電線、電柱の景観改善を考えた方がよい。



屋外広告物について

- ・路上看板などの問題については、芦屋市などの先進事例を市民に発信し、意識啓発してほしい。
- ・ナショナルチェーンの看板誘導も検討してほしい。

その他

- ・景観の議論は、みんなで見て考えることが大事。景観が画一的になってはいけないのではないかな。
- ・目標に対して、「誘導基準」だけだと物足りない。市民向けの手引きの内容なども入れ込んだ方がよい。
- ・緑や歴史遺産の管理計画も必要であるなど、行政内の担当課を横断した情報交換をしてほしい。
- ・駅前には、地域の玄関口であるのに緑が少ないと感じる。もっと駅前広場に緑が多いとよい。
- ・住宅地では、沿道部分の花や緑を増やしていけるとよい。
- ・駐車場の緑化を進めてほしい。また、駐輪場等のデザインがどうあるべきか示してほしい。
- ・防災や防犯の問題とも関連するが、景観の面ではブロック塀をなくしたい。
- ・景観をよくしていくためには、空き家の問題や、防犯や防災の観点も大切である。
- ・景観まちづくりには、様々な生き物が活動できるような生物多様性の視点が必要である。



*いただいたご意見をもとに、今後検討を進めていきます。ご参加いただきありがとうございました。

問い合わせ

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市役所 都市整備部 まちづくり推進課
電話: 0422-60-1872 ファクス: 0422-51-9250
Eメール: SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp



Facebook ページ <https://www.facebook.com/musashinoscape>

いいね!